

平成28年度

— 第8回（定例・臨時） —

教育委員会議事録

開 会	平成28年 8月19日		14時30分			
閉 会	平成28年 8月19日		16時00分			
会議場所	教育委員室					
委員出欠	花山院弘匡	出	佐藤 進	出	森本哲次	出
	藤井宣夫	欠	高本恭子	出		
議事録署名	教 育 長					
委 員	教育長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議案及び議事内容	結果
<p>次 第</p> <p>議決事項 1 平成29年度に使用する県立中学校及び特別支援学校（小学部・中学部）の教科用図書の採択について</p> <p>報告事項 1 国家賠償請求事件（畝傍高校プール事故）の附帯控訴に係る意見聴取について</p>	<p>保 留</p> <p>承 認</p>
<p>○吉田教育長「ただ今から、平成28年度第8回定例教育委員会を開催いたします。本日は藤井委員が欠席ですが、定足数を満たしており、委員会は成立しております。」</p>	
<p>○吉田教育長「まず、前々回及び前回の定例教育委員会議事録の承認についてです。お手元に配布している議事録について、各委員内容をご確認ください。ご承認をいただけますか。」</p> <p>※ 各委員一致で承認</p>	<p>承 認</p>
<p>議決事項 1 平成29年度に使用する県立中学校及び特別支援学校（小学部・中学部）の教科用図書の採択について</p>	
<p>○吉田教育長 「それでは、議決事項1『平成29年度に使用する県立中学校及び特別支援学校（小学部・中学部）の教科用図書の採択』について、ご説明をお願いします。」</p> <p>○深田学校教育課長 「平成29年度に使用する県立中学校及び特別支援学校（小学部・中学部）の教科用図書の採択についてご説明します。</p> <p>今年度は、平成29年度に使用する県立中学校の教科用図書並びに特別支援学校中学部における検定済教科書、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書の採択及び学校教育法附則第9条の規定による、特別支援学校小学部・中学部における一般図書、拡大教科書等の採択替えを行います。</p> <p>まず、県立青翔中学校において平成29年度に使用する教科書については、昨年度に採択替えを行ったため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に基づき、今年度と同様の教科書を採択いたします。</p> <p>続きまして、県立特別支援学校小学部・中学部で使用する教科書の採択についてご説明します。特別支援学校の教科書の採択につきましては3点に分かれており、1点目が文部科学省検定済教科書、2点目が文部科学省著作教科書、3点目が学校教育法附則第9条の規定による教科書です。</p> <p>まず1点目の文部科学省検定済教科書についてご説明します。小学部用の教科書については平成26年度に、中学部用の教科書については平成27年度に採択替えを行っております。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に基づき、本年度と同様の教科書を採択いたします。新たに使用する必要がある教科書については追加で採択いたします。</p> <p>なお、奈良養護学校小学部、奈良東養護学校小学部、奈良西養護学校小学部・中学部、二階堂養護学校小学部・中学部、西和養護学校小学部、大淀養護学校小学部・中学部については、検定済教科書を使用する予定はありません。</p> <p>次に2点目の文部科学省著作教科書について、これらは視覚障害、聴覚障害、知的障害の種別に応じて文部科学省が作成した点字本等です。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に基づき、本年度と同様の教科書を採択いたします。新たに使用する必要がある教科書については追加で採択いたします。</p> <p>最後に3点目の学校教育法附則第9条の規定による教科書についてご説明します。文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書が適当でない場合に、これらに替えて使用することがで</p>	

議案及び議事内容

きる教科用図書のことです。採択に当たっては、児童・生徒の障害の種類やその状態、また能力や特性に最も相応しい内容のものであるかについて留意する必要がある、このような性質から毎年採択替えを行うことができるとなっております。平成29年度に使用する教科用図書については、各特別支援学校において選定したものを教育委員会事務局で審査・検討し、『(1)一般図書』と『(2)拡大教科書等』に分けて一覧を作成しております。

これらの採択について、ご審議をお願いいたします。

以上です。」

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見はございませんか。」

○吉田教育長 「来年度廃校が予定されている奈良養護学校整肢園分校で採択される教科書は、統合される先の奈良養護学校本校で採択される教科書と同じになっていますか。」

○深田学校教育課長 「廃校がまだ予定のため、奈良養護学校本校で採択される教科書とは異なっています。」

○吉田教育長 「合わせておく必要があると思うのですが、いかがですか。」

○深田学校教育課長 「確認します。」

○吉田教育長 「他にご意見がないようですので、再度検討していただくこととし、保留としてよろしいか。」

※各委員、保留で一致

○吉田教育長 「議決事項1については保留いたします。」

報告事項1 国家賠償請求事件（畝傍高校プール事故）の附帯控訴に係る意見聴取について

○吉田教育長 「それでは、報告事項1『国家賠償請求事件（畝傍高校プール事故）の附帯控訴に係る意見聴取』について、ご報告をお願いします。」

○吉田保健体育課長 「国家賠償請求事件『畝傍高校プール事故』の附帯控訴に係る意見聴取について、ご報告いたします。

5月12日に開催されました第3回定例教育委員会において、その他報告事項として、この事故について香河学校支援課長よりその概要をご報告させていただきました。

その後、奈良地方裁判所の判決に対し、原告側が控訴いたしました。その控訴理由書の内容があまりに過大な請求であったため、県としては、施設の設置又は管理の瑕疵及び過失割合について議論を進め、再度司法の判断を仰ぐために附帯控訴をすることとしました。

このことについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、地方公共団体の長は教育委員会の意見をきかなければならないこととなっており、知事から意見聴取の依頼がありました。緊急を要したため、奈良県教育委員会の権限に属する事務の一部委任と臨時代理に関する規則第4条第2項に基づき、教育長の臨時代理により、奈良県教育委員会として異議がない旨の回答をさせていただきました。

なお9月2日に第1回の口頭弁論が行われる予定です。以上です。」

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見はございませんか。」

○吉田教育長 「ご意見がないようですので、原案どおり承認してよろしいか。」

議 案 及 び 議 事 内 容

※各委員一致で承認

○吉田教育長 「報告事項1については承認いたします。」

その他報告事項

○吉田教育長 「その他報告事項について、ご報告をお願いします。」

○中村次長 「平成28年度奈良県教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の基礎資料（案）についてご報告します。

お手元の資料は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、県教育委員会が平成27年度に行った施策についての点検・評価の結果をまとめたもので、12月議会に報告する基礎資料（案）となります。9月1日木曜日に開催いたします、教育評価支援委員会会議におきまして、この基礎資料（案）をもとに、教育評価支援委員よりご意見をいただいた後、10月の定例教育委員会においてお諮りし、報告書を作成し、12月議会に提出することになっています。

2ページは、平成27年度における、教育委員会の活動状況をまとめています。このページでは、年間19回にわたる定例教育委員会の開催状況・審議等の内容の概要を記載しています。3ページでは研修状況・視察状況・その他の活動状況を掲載しています。

6ページには、平成27年度に取り組んだ各事業を、奈良県教育振興大綱の分類に従って整理しています。今年度より、大綱の『施策の方向性』のうち、大学教育を除く教育委員会所管の14の施策に『文化財の保存と活用』を加えた15の施策を評価単位とすることとし、点検・評価を実施しました。また、評価単位の見直しに伴って、7ページ以降も今回からフォームを改訂しました。『現状と課題』、『平成27年度の取組状況の評価』、『主な取組』、『取組の成果と課題』、『評価』そして『今後の主な取組』で構成しています。

7ページから15ページまでは『学びのステージに応じた教育のあり方』として、4つの施策にまとめています。16ページから37ページまでは『本県の教育の課題に応じた教育のあり方』として、10の施策にまとめています。

これらのうちの2つを例にあげて、フォームの構成について説明します。

16、17ページ『規範意識の向上と地域ぐるみで課題に取り組む仕組みづくり』についてです。『現状と課題』では、主に大綱の重要業績評価指標（KPI）に関係する、現在の状態を示すグラフをいくつか掲載しています。この施策分野では、大綱において規範意識に関する4項目に肯定的に回答する児童生徒の割合や、学校・地域の連携・協働を推進する取組、学校評価による学校改善の効果等がKPIとしてあげられていますので、それらに関する直近の値を掲載しています。

『取組状況の評価』では、経年変化を見ることが出来るグラフ等、取組の成果の裏づけや参考となるグラフを掲載しています。例えば『規範意識の項目に肯定的な回答をした児童生徒の割合』のグラフでは、規範意識についての、4つの質問に肯定的に回答をした児童生徒の割合の平均を、経年変化で見てもみますと、徐々に改善している様子がわかります。

『主な取組』として25年度から27年度の主な取組を示し、成果指標の数値データとともに記載しました。来年度の点検・評価からはこの『主な取組』に『奈良県教育振興大綱アクションプラン』の取組内容の中で数値目標のあるものを掲載し、アクションプランの点検・評価も行うこととなります。

『取組の成果と課題』では、目標に対しての取組の結果、成果のあった部分、課題のあった部分等について分析をしています。規範意識は改善の傾向にあること、社会活動やボランティア活動等の機会が増加していること、学校評価の一層の推進が必要であることをあげています。

『評価』では、『成果』と『課題』を踏まえたうえで、1年間トータルの評価を行っています。仕組みづくりは順調に進んでいますが、今後も内容の充実を推進していくことが必要であるとまとめています。

議 案 及 び 議 事 内 容

『今後の主な取組』では、平成28年度の目標達成に向けた主な取組をアクションプランからピックアップして紹介しています。

次に、36、37ページの『安心・安全で質が高い教育環境の整備』についてです。36ページでは、K P Iに関する県立学校の耐震化率や、コンピュータの整備率等について、経年の数値で進捗状況を示しています。災害弱者が多く在籍する特別支援学校の耐震化率は100%を達成していますが、県立高等学校の耐震化率は上昇してはいるもの、82.8%と全国平均の96.4%を大きく下回っている状況です。

取組と評価についてです。I C T環境については年々改善していますが、整備とともに機器の利活用の推進や、教員のI C T活用能力の向上が必要なこと、大綱に掲載されている防災教育や安全教育に係る取組の充実等を掲載しています。

38ページから40ページまでは『文化遺産の保存と活用』について、まとめています。『有形文化財の保存修理』や『史跡地環境整備事業』等について、着実に事業が進んでいます。平成27年度には『文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議』が初めて開催されました。文化財の保護意識を高め、後世に引き継ぐための施策の状況について掲載しています。

41ページから45ページまでは、奈良県教育振興大綱の重要業績評価指標のうち、教育委員会の施策と関係するものを一覧にしています。基準値は大綱策定時に用いた数値、現状値は平成27年度のもの、発表が未だのものについては直近のものをできるだけ掲載しています。

県民の方々にもわかりやすい施策評価にしていくために、施策やその取組状況に関わって、具体例やポイントとなる説明等をわかりやすく記述することを心がけました。

以上です。」

○香河学校支援課長 「平成28年4月1日現在で文部科学省が調査しました公立学校施設の耐震改修状況調査の結果についてご報告します。

構造体の耐震化整備状況について、小中学校の耐震化率は98.6%と全国平均の98.1%を上回り、全国順位も32位から28位となりました。33市町村と1組合で小中学校の耐震化は完了しています。一方で、幼稚園と高等学校は全国平均を下回り、全国順位はそれぞれ39位、46位という状況です。高等学校につきましては、昨年度より6.2ポイント上昇しましたが82.8%、県立高等学校だけでは82.7%となっています。

現在、県立高校につきましては、平成29年度までを耐震整備の集中期間として重点的に取り組んでいます。今年度も11校13棟の耐震化工事を予定しており、これらが完了しますと、平成29年4月1日現在の耐震化率は、87.2%となる見込みです。

次に『非構造部材の耐震点検、耐震対策の状況』です。高さが6mを超える又は水平投影面積が200㎡を超える大規模な天井を有する体育館等が、県内の公立幼稚園で1棟、小中学校350棟、高校81棟、特別支援学校で14棟ございます。そのうちつり天井につきましては、撤去等の対策を順次進めておりますが、現在、小中学校で18棟残っています。うち4棟は耐震対策済みです。その他高等学校8棟、うち県立高校は6棟、特別支援学校に1棟残っている状況です。引き続き撤去を基本として対策を進め、特別支援学校につきましては今年度で完了する予定です。

最後に『人に重大な被害を与える恐れがある箇所』について、学校単位の点検、対策の実施状況です。この点検は文部科学省作成のガイドブックにそって、学校の教職員等が点検を実施したものです。幼稚園、小中学校における点検率、対策率とも全国平均を大きく下回る状況です。今回の公表を受け、改めて各市町村教育委員会あてに教育長名で対策の推進について通知を行いました。また、先日(8月5日)に開催しました市町村教育委員会施設主管課長会議の場でも耐震対策の推進について依頼をさせていただきました。引き続きいろいろな機会を通じて、市町村に対しても要請してまいりたいと考えています。

以上です。」

○塩見教職員課長 「平成29年度奈良県・大和高田市公立学校教員採用候補者選考試験第1次試験の結果についてご報告します。

採用予定者数は、平成28年度向けが400名のところ、平成29年度向けが386名、出願者数は平成28年度向けが2,913名のところ、平成29年度向けが2,702名、第1次受検者数は平成28年度向けが2,553名のところ、平成29年度向けが2,404名、第1次合格者数は平成28年度向けが1,011名のと

議 案 及 び 議 事 内 容

ころ、平成29年度向けが1,040名となっています。

第1次試験の合格倍率は、平成28年度向けが2.5倍のところ、平成29年度向けが2.3倍という状況になっています。ちなみに、平成27年度向けが2.2倍、平成26年度向けが2.9倍でした。

採用候補者選考試験の日程ですが、第1次試験の結果発表は8月3日に既に行っています。第2次試験のうち実技と集団討論については、8月13日から15日に郡山高等学校で、個人面接のうち8月17日と18日は奈良高等学校でそれぞれ実施しました。本日(8月19日)から3日間、個人面接を畷傍高等学校で実施します。第2次試験の結果発表は、9月16日金曜日の午前10時に、県庁正面の掲示場に第2次合格者の受験番号を掲示するとともに、午前11時に教職員課のホームページにもアップする予定です。また第2次受験者につきましては、結果を郵送することになっています。

以上です。」

○深田学校教育課長 「平成29年度奈良県立青翔中学校入学者選抜実施要項について、ご報告します。

応募資格については、高校入試と同様に、奈良県内に保護者とともに居住していることを基本とします。県外からの方でも中学校入学式の日までに保護者とともに奈良県内に居住することが確実な方は、手続きを行うことで出願が可能となります。

青翔中学校は、青翔高校と同じ校舎を利用して6年間を見通して学習を進める併設型の中高一貫教育校ですので、通学区域は県内全域が対象となります。

募集人員は、昨年度までは40名でしたが、今年度からは2クラスにあたる80名とします。現在、青翔中学校は、1年生から3年生まで各1クラス40名の学級編成で、このまま青翔中・高校6年間を同じメンバーで過ごすこととなります。クラス替えがないことによる良い点もありますが、人間関係や相互の評価等が固定化してしまうことや、様々な教育活動の場で切磋琢磨する機会が少ないという懸念がありました。募集人員を増やすことで、多様な考え方に触れながら、より豊かな人間関係を構築する機会が増えることとなります。学習内容の深まりや広がりが出ると考えております。

出願は専願扱いとなります。願書の提出は、郵送を基本とし、青翔中学校の窓口へ直接持ち込む場合は、受付期間の最後の2日間のみとします。近畿地方の私立中学校入試が1月14日土曜日以降に実施され、多くの入試結果が1月22日日曜日までに出ると考えられることから、1月24日火曜日を締切としました。入学願書の配布は青翔中学校と学校教育課で行います。

検査は1月28日土曜日に青翔中学校で行います。検査内容としては、2つの適性検査と面接を実施します。適性検査1は主に国語と社会に関係する内容とし配点は100点満点、検査時間は40分としています。適性検査2は主に算数と理科に関係する内容とし、配点は理科・算数好きの子どもを集める趣旨から150点満点、検査時間は40分としています。面接は集団面接とし、1グループ5人から8人程度で20分程度とし、50点満点としています。

入学者は、適性検査1・2と面接の結果及び小学校から提出された調査書を資料として総合的に判断します。

合格発表は、2月1日水曜日に、学校での受検番号の掲示ではなく、郵送による発表とします。

入学予定者の手続きですが、市町村立中学校に入学しない旨を市町村教育委員会に連絡する必要があります。この手続については保護者に行っていただきます。

県外からの出願については、高校入試の場合と同様の手続きを行います。県外から転居される場合と、奈良県内に居住しているが県外小学校を卒業する見込みであるという場合に手続きが必要となります。

調査書作成要領ですが、中学校につながる成績ということから小学校6年生の学習成績の内容等を記載することとします。

続いて、提出していただく書類の様式についてご説明いたします。

様式1が願書になります。入学考査料は2,200円であり、県の収入証紙により納入していただきます。記載項目は高校入試の願書とほぼ同様となっております。

様式2が調査書になります。記入例にあるように、各教科については観点別学習状況をA・B・Cで記入していただき、3・2・1の評定を記入していただきます。

議案及び議事内容

様式3が県外等から出願する場合に必要な入学志願許可申請書となっています。
様式4が欠席届になります。検査を1つでも受検しなかった場合も欠席扱いとなりますので、この用紙を保護者から提出していただきます。
以上です。」

○尾登文化財保存課長 「平成28年度文化財“体感”事業『未来の“匠”養成』建造物修復現場インターンシップについてご報告します。

本年度新規事業として取り組んでいるもので、高校生に建造物を修復している現場に入っただくことで、県内の文化財に対する理解を深めていただくとともに、将来の宮大工を確保していきたいと考えています。本科と一日体験を実施しました。

本科は7月26日から28日までの3日間、法隆寺出張所で行いました。奈良朱雀高等学校建築工学科2年生37名のうち男子2名、吉野高等学校建築工学科1年生19名のうち女子2名に参加いただきました。内容は写真撮影実習、部材実測実習、伝統的建造物の修復には欠かせないヤリガンナを実際に使用する作業体験等をしていただきました。

また奈良朱雀高等学校1年生36名を対象に一日体験を実施しました。法隆寺出張所、称念寺出張所、唐招提寺出張所にそれぞれ11名、12名、13名が参加し、文化財に触れていただいたところです。

参加していただいた生徒からは、将来的にこういった道に進みたい、歴史的建造物の構造が知りたかったので良かった等の感想もいただきました。今後も引き続きこのような事業ができればと思っています。

以上です。」

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見はございませんか。」

○花山院委員 「公立学校施設の耐震改修状況調査について、様々な努力により改善されつつありますが、幼稚園がまだまだ低位です。どのような理由からでしょうか。

教員採用試験について、校種・教科別にみると、高等学校の家庭（調理）の競争倍率が1倍となっていますが、どのような理由でしょうか。

青翔中学について、他の中学に比べると成績が良くなってきていて素晴らしいことと思いますが、中高一貫で他の学校のことが分からないので、難しいかもわかりませんが、他校の先生にきていただいて話をしていただくような機会があればおもしろいし、保護者も安心されると思います。

文化財インターンシップ事業は素晴らしいと思います。今回は奈良朱雀高等学校や吉野高校など決まった学科から参加いただいておりますが、普通科でも大学等の建築学科や文化財学科にいきいたいという生徒がいると思います。現場の対応は大変だと思いますが、広く奈良県全体の高校生の中にも、将来建築関係のことをやりたい、文化財関係のことをやりたいといった高校生を募集していただいて、インターンシップの機会を提供していただければ、奈良県としても良いと思います。」

○香河学校支援課長 「幼稚園の耐震化率について、市町村それぞれの事情があると思いますが、聞いている限りでは、幼稚園の統合を考えているところがあるとのことで、耐震化率が伸びない原因になっています。」

○中村次長 「統合が大きな要因になっていますが、災害時の避難所として小・中学校の体育館が使われることから、当該施設の耐震化を優先しなければならないといった事情もあります。幼稚園の耐震化については、引き続き市町村に働きかけたいと思います。」

○塩見教職員課長 「高等学校家庭科（調理）は、採用予定者数は1名、出願者数、受験者数、第1次合格者数いずれも1名となっています。

出願者数が少ない理由は、高等学校家庭の免許状を持っていること、調理師の資格も必要になることと思われる。」

議 案 及 び 議 事 内 容

○深田学校教育課長 「青翔中学校に大学の先生等に来てもらって話をしていただき、子どものモチベーションをあげるようなことを考えていきたいと思います。」

○尾登文化財保存課長 「今回は宮大工に視点を当ててインターンシップを実施しましたが、文化財建造物を扱う建築技師や埋蔵物関係もあります。将来、工学部や建築学部を目指すような生徒たちに、文化財に関心をもってもらえるインターンシップの拡充について検討したいと思います。」

○森本委員 「施策の点検と評価の基礎資料（案）をご報告いただきましたが、教育振興大綱との関係についてはどのようになっているのでしょうか。

また教員採用について、まだ途中の段階ですが、県内と県外の割合はいかがでしょうか。」

○中村次長 「施策の点検・評価と教育振興大綱との関係についてご説明します。総合教育会議において、今年3月に作成された教育振興大綱の分類に従って整理し、14の施策の方向性にまとめました。文化財については施策の方向性としては明記していませんので、『文化遺産の保存と活用』として、施策の点検・評価に盛り込んでいます。

平成28年度の取組の進捗状況については、定めているKPIの数値を達成すべく、現在取り組んでいるところです。」

○吉田教育長 「施策の点検・評価で、吉野高等学校及び十津川高等学校で技術者を養成していますが、どのような技術者を養成しようとしていますか。」

○深田学校教育課長 「十津川高等学校に木工コースを設置し、技術者を養成しようとしています。将来、生徒が卒業したときに奈良県で木工、森林に関わる仕事をしてもらえるような取組を進めていきたいと考えています。」

○吉田教育長 「技術者といった表現が曖昧です。その他誤解を招く表現もあるので検討をお願いします。」

○中村次長 「『今後の主な取組』の内容については、9月1日の教育評価支援委員会までに再度全体の内容を精査します。」

○塩見教職員課長 「教員採用試験合格者に占める大学別の人数は集計しています。昨年度の場合、奈良教育大が13.5%、その他の教育大学が15.3%、一般大学が62.2%、短期大学が3.2%、大学院等が5.8%となっています。」

○佐藤委員 「耐震化率が100%になるのは、いつぐらいを目標にされていますか。危険な建物が後送りされているように感じますが、いかがでしょうか。」

○香河学校支援課長 「耐震補強工事については、この集中期間で概ね完了する見込みです。ただしコンクリート強度が不足している等、通常の補強工事で済まないものがあり、改築を含めた検討が必要です。今後の生徒の減少を踏まえた適正規模等の検討と併せて、工法やスケジュールを決定していきたいと考えています。現時点では目標を設定することができませんが、可能な限り早く作業を進めたいと考えています。」

○花山院委員 「がん教育の推進について、具体的にどのような取組をされていますか。」

○吉田保健体育課長 「奈良県がん対策推進条例が改正され、学校におけるがん教育を進めていくこととされましたので、一昨年度は中学校用の指導用リーフレットを作成し、昨年度は高等学校用の指導用リーフレットを作成し、それぞれ校種別研修会等も実施しています。具体的には保健体育の保健授業の中で2時間程度、がんの特化した授業を実施している学校もあります。」

議案及び議事内容

今年度末にはどのくらい実施されているのか、調査したいと考えています。」

○高本教育委員 「7月2日に東吉野村高見川で発生した、弟が投げた鋸で兄が死亡した事故で、逮捕された中学2年生の弟の心理的負担を心配しています。ケアは継続されているのでしょうか。」

○春田生徒指導支援室長 「翌日早朝に当該校の校長先生から事件の報告があり、すぐにスクールカウンセラーを派遣する等の対応を行いました。事件の後数日は、弟とその場にいた友達2人も登校できなかったようです。もちろん心のケアを直ぐに行い、リスクの高い者から集中的にスクールカウンセラーに対応させて、現在も様子をうかがっているところです。」

○吉田教育長 「他にご意見がないようですので、原案どおり承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長 「その他報告事項については承認いたします。」

○吉田教育長 「その他連絡・報告はございませんか。」

○深田学校教育課長 「前回の教育委員会のその他報告で、『平成29年度奈良県立高等学校入学者選抜実施要項』について、説明させていただきました。青翔中学校から青翔高校に入学を希望しない場合は入学辞退届を提出、入学するときには入学届を提出としておりましたところ、青翔高校への入学が前提の中高一貫教育を行っているのだから、入学する場合の入学届は不要ではないのかというご意見をいただきました。

他県の状況を確認したところ、公立の併設型中高一貫教育校においては、全て入学届の提出を義務付けておりました。ただし、それらの学校は、すべて高校からの外部入学生を募集しており、入学届は、募集定員を設定するために必要な書類となっています。青翔中・高の場合は、外部からの入学生がいないため、いただいたご意見のとおり、入学届の提出は必要ないと判断させていただきました。

これにより、要項の文言を『奈良県立青翔中学校の第3学年の生徒は、奈良県立青翔高等学校への入学に際して、入学者選抜を行わず、入学する予定の者とし、奈良県立青翔高等学校に入学を希望しない場合、奈良県立青翔高等学校長が定める様式と期日に基づき、入学辞退届を提出してください。入学辞退届を提出した者については、奈良県立青翔高等学校への入学資格を失います。』としました。

以上です。」

○吉田教育長 「それではこれもちまして、本日の委員会を終了します。」